

## 今後の検討スケジュールについて

### 1. 今後の議論について

平成13年12月21日 第10回生命倫理専門調査会

- ・議論の範囲と現時点で想定される論点メモ
- ・今後の検討スケジュール
- ・基礎的事項の説明（生殖補助医療や胚の操作等）

### 2. 検討すべき事項（論点）とそれに関する主要意見の抽出

平成14年1月～5月 :月に1～2回程度開催

各方面の有識者等からの意見聴取

- ・専門調査会の場において有識者等から意見聴取（1回当たり2人程度）
- ・事務局において幅広い有識者等から意見聴取（取りまとめて専門調査会に報告）

論点及びそれに対する主要な意見を取りまとめ

### 3. 基本的考え方の取りまとめ

平成14年6月～ :月に1～2回程度開催（必要に応じ集中審議）

論点毎の議論

- ・論点毎に専門調査会としての考え方の整理
- ・制度の在り方について議論

基本的考え方（報告書）の素案取りまとめ。

パブリックコメント

公聴会等の実施

基本的な考え方（報告書）を取りまとめ

- 1：検討において特定胚指針に反映すべき事項があれば適宜反映
- 2：基本的考え方を踏まえ、具体的な制度枠組みについて更に検討を行う。

(別添) ヒアリング事項の例

ヒト胚を用いた研究の内外動向について  
(生物系研究者、医学系研究者等から)

ヒト胚に関する規制の外国の状況について  
(生命倫理の有識者、法学系研究者等から)

生殖医療現場におけるヒト胚の取扱いについて  
(産婦人科医から)

ヒト胚に関する規制の在り方について  
(社会学系、法学系、倫理学系及び哲学系の研究者等から)

我が国国民のヒト胚に関する伝統的考え方について  
(宗教学系、文化人類学系等の研究者等から)

本問題に関する国民の考えについて  
(宗教関係者、患者団体、マスコミ等から)